



西九州させほ
広域都市圏

西九州させほ広域都市圏について

(目次)

- | | |
|-----------------|------|
| 1 連携中枢都市圏の概要 | … P2 |
| 2 これまでの取り組み内容 | … P4 |
| 3 第2期都市圏ビジョンの概要 | …P13 |
| 4 ビジョン懇談会の概要 | …P17 |

令和7年3月 企画部政策経営課作成

連携中枢都市圏の取組の推進

連携中枢都市圏の意義とは

- 地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成

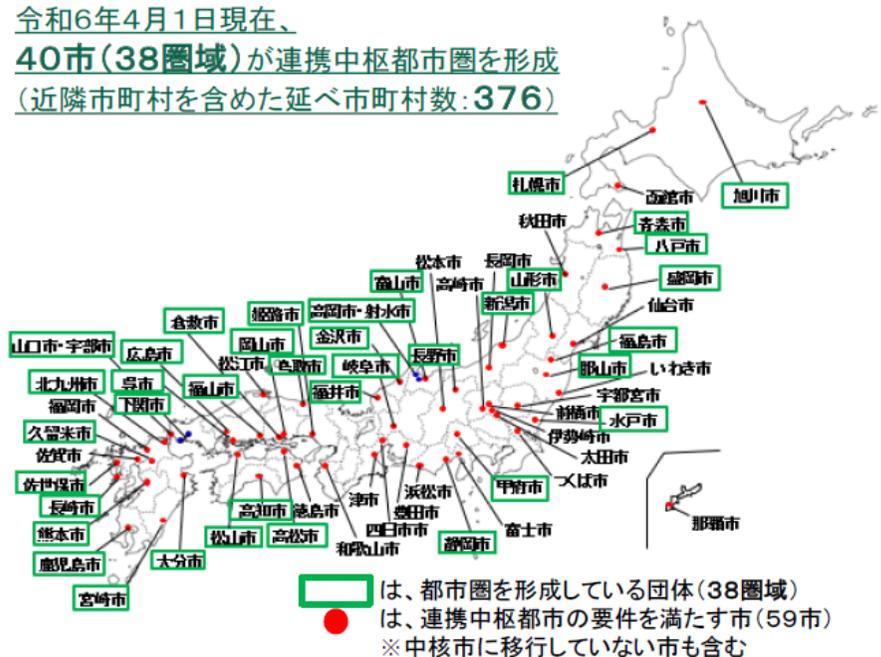
連携中枢都市圏に何が求められているのか

- ① **圏域全体の経済成長のけん引**
産学金官の共同研究・新製品開発支援、六次産業化支援 等
- ② **高次の都市機能の集積・強化**
高度医療の提供体制の充実、高等教育・研究開発の環境整備 等
- ③ **圏域全体の生活関連機能サービスの向上**
地域医療確保のための病院群輪番制の充実、
地域公共交通ネットワークの形成 等

連携中枢都市圏をいかに実現するか

- 地方自治法を改正し、地方公共団体間の柔軟な連携を可能とする「連携協約」の制度を導入 (平成26年11月1日施行)
- 平成26年度から、連携中枢都市圏の形成等を推進するため、国費により支援
- 平成27年度から、地方交付税措置を講じて全国展開

➤ 連携中枢都市圏形成のための手続き



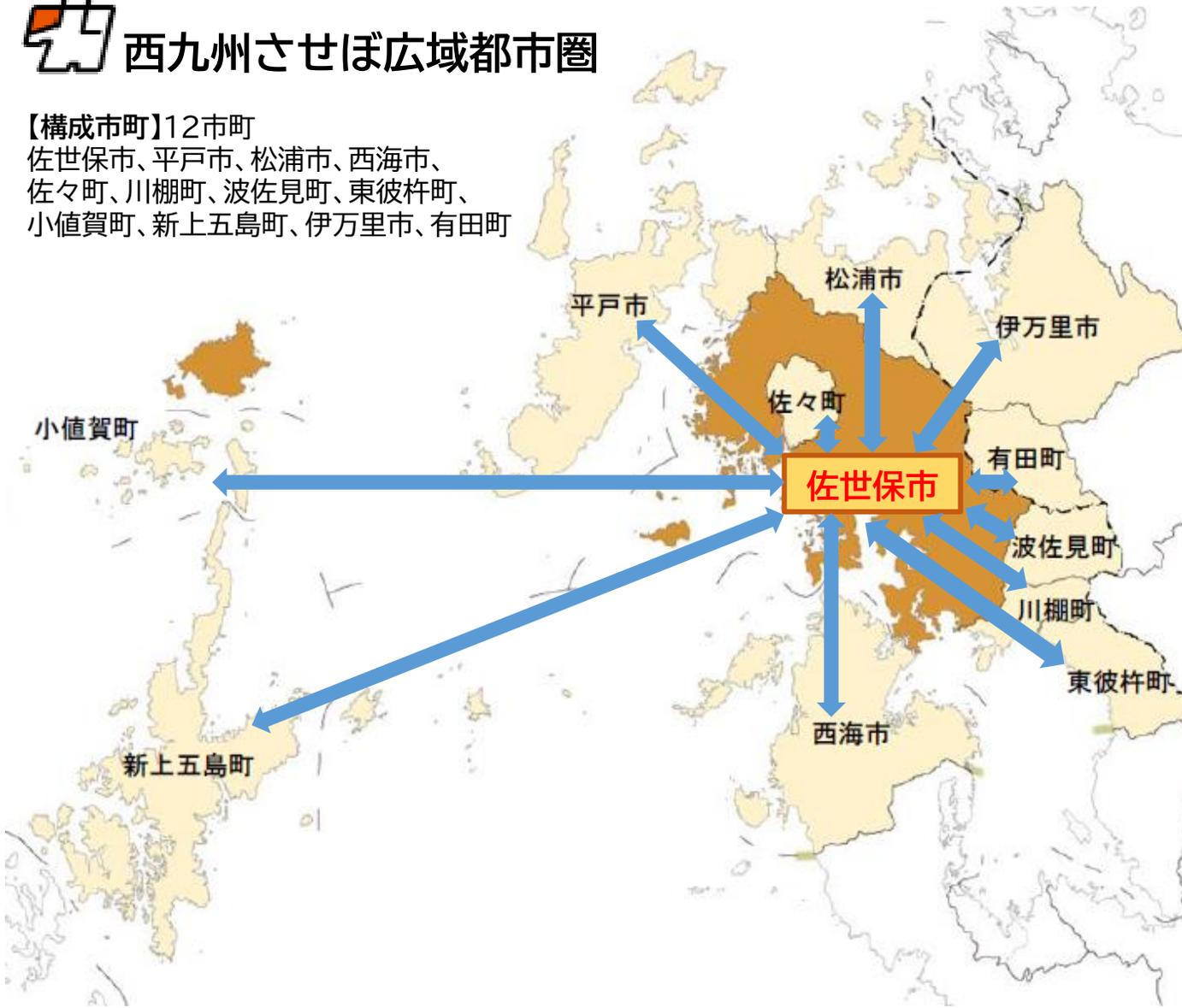
【連携中枢都市圏とは】
地方圏において、昼夜間人口比率おおむね1以上の指定都市・中核市と、社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏

※ただし、隣接する2つの市(各市が昼夜間人口比率1以上かつ人口10万人程度以上の市)の人口の合計が20万人を超え、かつ、双方が概ね1時間以内の交通圏にある場合において、これらの市と社会的、経済的に一体性を有する近隣市町村とで形成する都市圏についても、連携中枢都市圏と同等の取組が見込まれる場合においては、これに該当するものとする。

西九州させぼ広域都市圏

【構成市町】12市町

佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、
佐々町、川棚町、波佐見町、東彼杵町、
小値賀町、新上五島町、伊万里市、有田町



【経緯】

①連携中枢都市宣言(H30年9月)
佐世保市が近隣市町と連携し、圏域
全体の経済をけん引し、圏域住民全
体の暮らしを支えるという役割を担
う意思表示

②連携協約締結(H31年1月)
※佐々町が加入(R2年3月)
連携して事務を処理するにあたって
の基本的な方針と施策分野ごとの
役割分担を定める協約。佐世保市と
各連携市町が1対1で締結

※協約の締結、変更には各市町議会の
議決が必要

③都市圏ビジョン策定

- ・連携協約に基づく具体的取り組み
について規定
- ・産学金官民の関係者からの意見を
幅広く反映

第1期ビジョン(R1～R5)

H31年3月26日公表

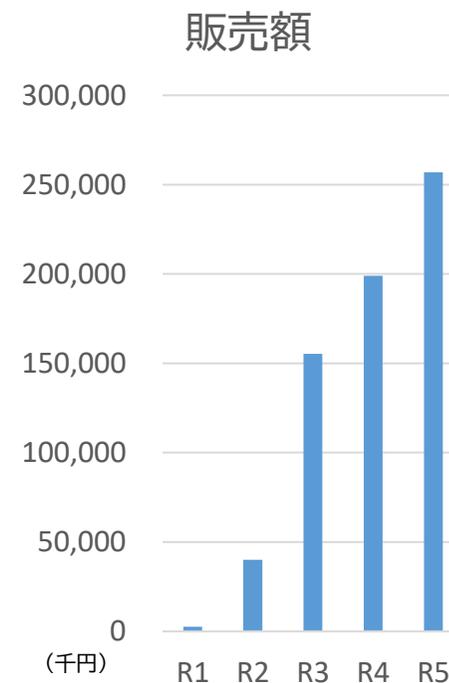
第2期ビジョン(R6～R10)

R5年度に策定・公表済

第1期(H31~R5)西九州させほ広域都市圏ビジョン施策体系

役割	施策	連携事業(46事業)
<p>ア 圏域全体の 経済成長のけん引</p>	<p>a 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、 地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成</p>	<p>創業支援の連携</p>
	<p>b 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大</p>	<p>農水産物等特産品販路拡大 ほか2事業</p>
	<p>c 戦略的な観光施策</p>	<p>広域連携による周遊観光の推進</p>
<p>イ 高次の都市機能の集積・ 強化</p>	<p>a 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築</p>	<p>クルーズ船入港体制整備 ほか3事業</p>
	<p>b 高等教育・研究開発の環境整備</p>	<p>大学等による地域課題解決に向けた研究の推進</p>
	<p>c その他、都市機能の集積・強化</p>	<p>世界遺産の保全活用 ほか5事業</p>
<p>ウ 圏域全体の 生活関連機能 サービスの向上</p>	<p>a 生活機能の強化</p>	<p>地域医療の確保に関する取組 ほか19事業</p>
	<p>b 結びつきやネットワークの強化</p>	<p>海上交通(航路)の維持・活性化 ほか5事業</p>
	<p>c 圏域マネジメント能力の強化</p>	<p>男女共同参画推進啓発 ほか3事業</p>

農水産物等特産品販路拡大事業(西九州食財プロジェクト)



- 圏域の農水産物を「西九州食財」としてブランド化 認知度向上、市場への定着を図る。
☞情報発信(WEB、SNS、YouTube等)、産地ツアー(商談会の開催)、福岡、沖縄、台湾などでフェア
- 参加市町:佐世保市、平戸市、松浦市、川棚町、佐々町、新上五島町、伊万里市
- 種類:67種(旬アジ、長崎ハーブ鯖、平戸なつ香鮮魚、鷹ふく、九十九島とらふぐ、九十九島カキ、ヒラメ、ヒラマサ、クロマグロ、長崎和牛、伊万里牛、伊万里梨、小串トマト、西海ナス、アスパラバス、お茶、長崎イチゴ、西海みかん、等)
- 販売額:
令和元年度 250万円 令和2年度 4,000万円(16倍) 令和3年度 1億5,540万円(62倍)
令和4年度 1億9,900万円(80倍) 令和5年度 2億5,690万円(102倍) ※()内は対初年度比

共同物産展の開催



- 市内で実施されるイベント「かっちえてアイラブフェア」を活用した共同物産展の開催
- 参加市町:全12市町
- 売上額 :令和元年度 5,320千円 令和2年度 4,590千円 令和3年度 6,900千円 令和4年度 8,350千円
令和5年度 4,890千円

移住・定住連携窓口・広域圏サポーター創出

■情報発信



YouTube、ガイドブック、オンライン相談会、ワーケーションツアーなど連携した情報発信

●ホームページのリニューアル



■移住ワンストップ窓口の共同活用
西九州させぼ移住サポートプラザを広域圏で活用
(新みなとターミナル内)



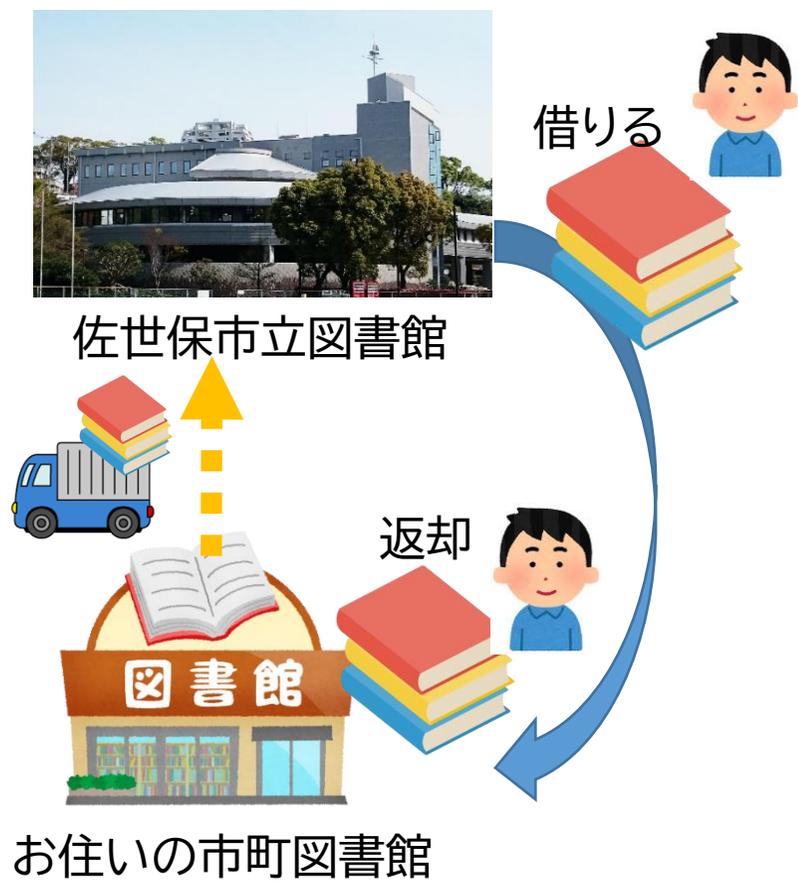
●広域圏市町移住実績：

令和元年度658人 令和2年度611人 令和3年度615人 令和4年度647人 令和5年度806人

※参考
平成29年度 564人

図書館相互利用サービス(貸出・返却の配送サービス)

連携市町の住民は佐世保市立図書館で本を借りることができ、さらにお住いの市町図書館で返却できる(※相互で可)



連携市町の住民は佐世保市立図書館の本をお住いの市町図書館に取り寄せて、市町図書館で貸し出し返却できる(※相互で可)



名切地区再整備

圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備として、「佐世保中央公園」のリニューアルを実施

※令和4年4月リニューアルオープン



メリッタKid'sは、圏域内のこどもたちの雨天時等の遊び場となっている。

民間のアイデアを活かし、PRやイベントの誘致など、広域的な利用がなされるような取り組みを進めながら、賑わいの拠点となることを目指している。

俵ヶ浦半島開発

圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備として、「九十九島観光公園」を整備

※令和3年3月一部供用開始



圏域の北側に位置するため、平戸市や松浦市等への周遊観光の拠点にもなる公園。

平戸城大規模改修

圏域全体の交流人口の拡大に資する拠点整備として、平戸城の大規模改修を実施

※令和3年4月リニューアルオープン



日本初の常設宿泊施設「城泊」も実施

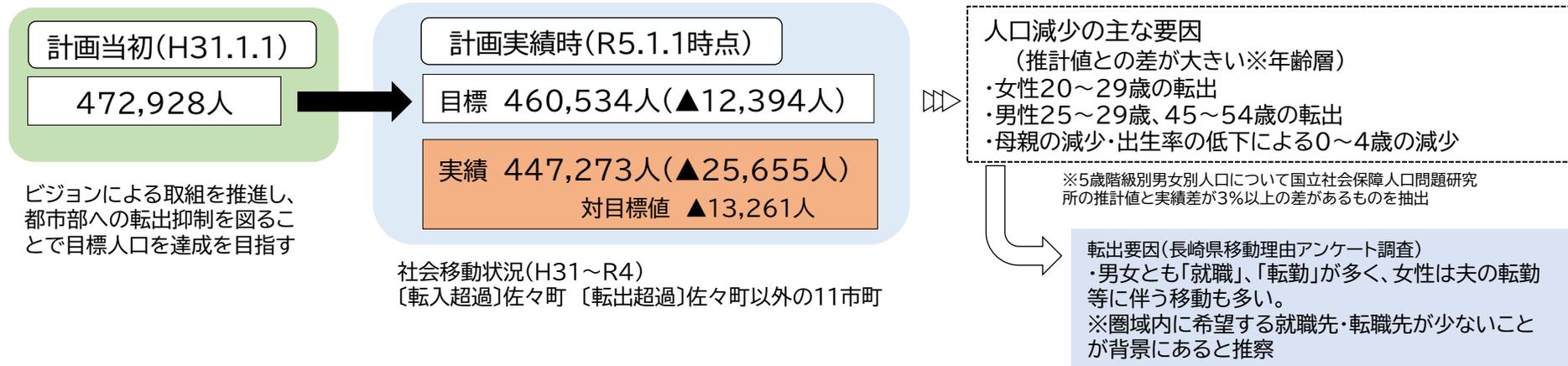
各種研修の実施

各種研修を広域的に実施

※主に佐世保市が実施する研修について連携市町からも参加いただく方式

- ①在宅医療・介護関係者の多職種連携研修会
- ②障がい福祉サービス事業所向けの各種研修会
- ③子ども発達センターの医師や医療専門職による学習会
- ④乳幼児教育・保育施設職員向けの研修会
- ⑤図書館職員向けの研修会(共同開催)
- ⑥防災行政に関する研修会
- ⑦男女共同参画に関する各種講演会、セミナー
- ⑧教職員向けの研修会
- ⑨各市町が開催するファミリーサポートセンター会員養成講座等の相互受講

圏域全体の職員等の資質向上により、住民サービスの向上を図るとともに、連携市町の研修開催の事務を効率化



西九州させぼ広域都市圏自治体の社会移動状況(H31～R4)

	自治体名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		H31.1.1人口	R5.1.1人口	②-① 人口増減	転入計	転出計	④-⑤ 社会増減	社会増減率
西九州させぼ 広域都市圏	佐世保市	249,263	236,784	▲12,479	34,254	40,006	▲5,752	▲2.3%
	平戸市	30,131	28,129	▲2,002	3,122	3,880	▲758	▲2.5%
	松浦市	22,176	20,426	▲1,750	2,633	3,256	▲623	▲2.8%
	西海市	27,203	24,900	▲2,303	3,376	4,315	▲939	▲3.5%
	東彼杵町	7,905	7,503	▲402	923	998	▲75	▲0.9%
	川棚町	13,703	13,006	▲697	1,947	2,237	▲290	▲2.1%
	波佐見町	14,590	14,006	▲584	1,872	2,093	▲221	▲1.5%
	小値賀町	2,381	2,185	▲196	379	387	▲8	▲0.3%
	佐々町	13,791	13,946	155	2,573	2,408	165	1.2%
	新上五島町	18,378	16,596	▲1,782	2,146	2,699	▲553	▲3.0%
	伊万里市	53,902	51,289	▲2,613	4,796	5,396	▲600	▲1.1%
	有田町	19,505	18,503	▲1,002	1,602	1,854	▲252	▲1.3%
	圏域計	472,928	447,273	▲25,655	59,623	69,529	▲9,906	▲2.1%
(参考)	長崎県	1,337,662	1,279,871	▲57,791	183,000	205,651	▲22,651	▲1.7%
(参考)	佐賀県	818,626	799,276	▲19,350	113,225	117,683	▲4,458	▲0.5%

【総括】・令和元年(2019年)から令和5年(2022年)の社会移動をみると、12市町中、11市町で流出超過。

役割	施策	KPI				達成度	
		指標名	ビジョン策定時	目標値	実績値		
1 圏域全体の経済成長のけん引		圏域内総生産額	146,982 千万円	現状値より向上	159,043 千万円	108.2%	達成
	産業クラスターの形成、イノベーション実現、 ① 新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	新規創業者数	249 人/年	1,564 人/年	202 人/年	12.9%	
	② 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	農水産物総生産額	28,592 百万円/年	28,781 百万円/年	32,433 百万円/年	112.7%	達成
	③ 戦略的な観光施策	観光入込客数	14,834 千人/年	17,068 千人/年	8,187 千人/年	48.0%	
2 高次の都市機能の集積・強化		圏域滞在人口率（平日）	103 %	現状値より向上	105.0 %	101.9%	達成
		圏域滞在人口率（休日）	103 %	現状値より向上	106.0 %	102.9%	達成
	① 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	入港船舶回数	89 回	370 回	6 回	1.6%	
		事業進捗率	— %	100 %	50.0 %	50.0%	
	② 高等教育・研究開発の環境整備	大学等との共同研究等による地域課題の解決率	— %	50 %	10 %	25.0%	
	③ その他、都市機能の集積・強化	事業進捗率	— %	100 %	16.7 %	16.7%	
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上		圏域人口の社会動態 (転入者数－転出者数)	▲ 4,501 /5年	現状値より向上	▲ 9,906 /5年	—	
	① 生活機能の強化	佐世保市以外の住民の病児保育室登録者数	44 /年	66 /年	30 /年	45.5%	
		図書館の貸出利用者数	474,915 /年	480,000 /年	354,003 /年	73.8%	
		計画種苗に対する供給率	85 %	85 %	85 %	100%	達成
	② 結びつきやネットワークの強化	移住者数	351 /年	371 /年	429 /年	115.6%	達成
③ 圏域マネジメント能力の強化	交流職員等の人数	— 人	4 人	0 人	0.0%		

【総括】 ・「役割」は3役割(4指標)のうち2役割(3指標)で達成。
 ・「施策」は9施策(12指標)のうち3施策(3指標)で達成。

- ▶全国的に人口減少が加速する中、国は異次元の少子化対策を掲げ、各種支援施策を実施することとしている。一方で、**少子高齢化の流れは止まらず、50年後の総人口は現在の7割に減少するとの推計**(社人研「日本の将来推計人口(令和5年推計)」)もある。
- ▶このようなことから、第2期ビジョン策定あたっては、**最終的な目標を圏域人口だけでなく、経済(総生産額、域内消費額等)を高めることを目標として、人口が減少しても域内で経済が循環し豊かに暮らせる圏域づくりを目指す**ことを基本的な考え方として定めている。

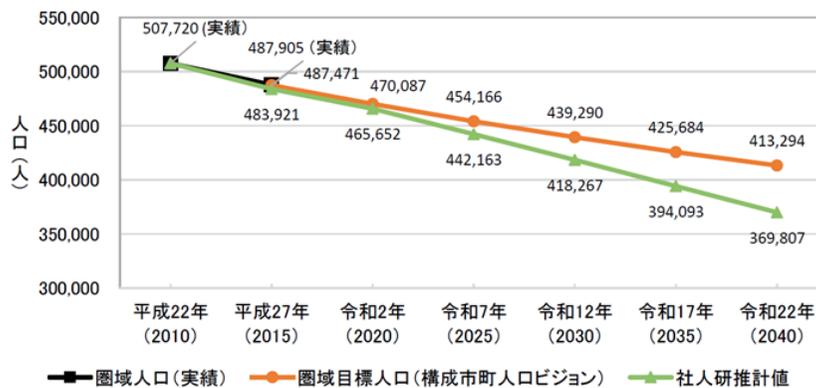
第1期ビジョン

(目指す将来の姿)

あなたが かえるまち 西九州

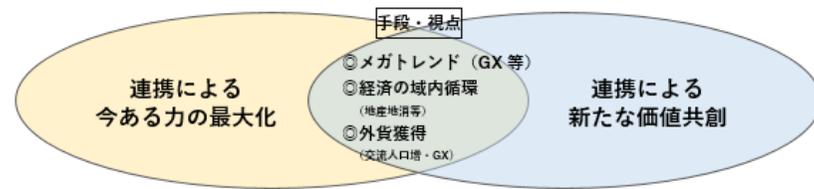
「変える」=暮らしや地域をより良く変える
 「還る」=他の地域に出たとしても再び圏域に還る場所がある
 「替える」=圏域内に住まいを替える

(将来の圏域人口の目標)



(出典)「平成27年国勢調査」、「構成市町人口ビジョン」
 「国立社会保障人口問題研究所(日本の地域別将来推計人口)」(平成30年3月)

第2期ビジョン

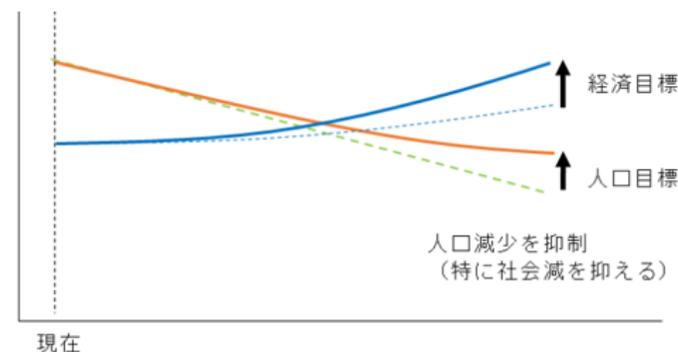


～目指す将来の姿～

あなたが かえるまち 西九州

「変える」暮らしや地域をより良く変える
 「還る」他の地域に出たとしても再び圏域に還る場所がある
 「替える」圏域内に住まいを替える

(将来目標設定の考え方)
 圏域の人口目標に加え経済の向上を目標として、
 人口が減少しても豊かに暮らせる圏域づくりを目指します。



西九州させぼ広域都市圏 第2期ビジョン(連携事業一覧)

役割	No.	連携事業
ア 圏域全体の 経済成長の けん引	1	西九州させぼ広域都市圏ビジョン懇談会等運営
	2	創業支援の連携
	3	農水産物等特産品販路拡大
	4	共同物産展の開催
	5	広域連携による周遊観光の推進
	6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
	7	圏域内企業の認知度向上
イ 高次の都市 機能の 集積・ 強化	8	高度な交流拠点整備の検討
	9	佐世保市・佐々町地域公共交通活性化
	10	世界遺産の保全活用
	11	伊万里港ポートセールスの推進
	12	海洋エネルギーの推進
	13	アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)推進
	14	佐世保市中央公園の利用促進
ウ 圏域全体の生活関連 機能サービスの向上	15	地域医療の確保に関する取組
	16	在宅医療・介護連携推進
	17	障がい福祉サービスの充実
	18	療育機能の改善
	19	病児・病後児保育室の利用に関する連携
	20	幼児教育センターのサービス提供

役割	No.	連携事業
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	21	ファミリー・サポート・センターの充実
	22	図書館相互レベルアップ(研修・講習会の共同開催)
	23	図書館相互利用サービス
	24	少年科学館事業・理科学習支援
	25	サテライトあすなろ教室(教育支援教室)運営
	26	中心市文化芸術プログラムの広域連携
	27	スポーツ施設相互利用検討
	28	栽培漁業の広域連携
	29	赤潮監視装置設置
	30	災害時における相互応援体制の確立
	31	防災行政に関する情報の共有及び職員の資質向上
	32	圏域内のエコライフ推進 (「させぼエコラボ」環境啓発ツールの広域展開)
	33	ごみの広域処理に関する研究
	34	広域圏サポーターの拡大
	35	移住・定住連携窓口の広域圏活用
	36	離島地域の移住・観光における広域連携の研究
	37	男女共同参画啓発
	38	人事交流制度による職員のスキルアップ・意識醸成
	39	教職員研修の共有連携(教育センター研修の活用)
	40	公民連携プラットフォームの形成

広域連携による周遊観光の推進

第1期ビジョンでも取り組んでいた事業だが、第2期ビジョンでは特に、本圏域で最大の集客力を誇るハウステンボスの来訪客の圏域内への周遊促進に取り組むこととしている。



周遊観光の取り組みイメージ

魅力ある観光資源の面的ネットワーク化、宿泊施設を含む受け入れ整備促進など、圏域全体を長期滞在できるエリアとするための取組を促進

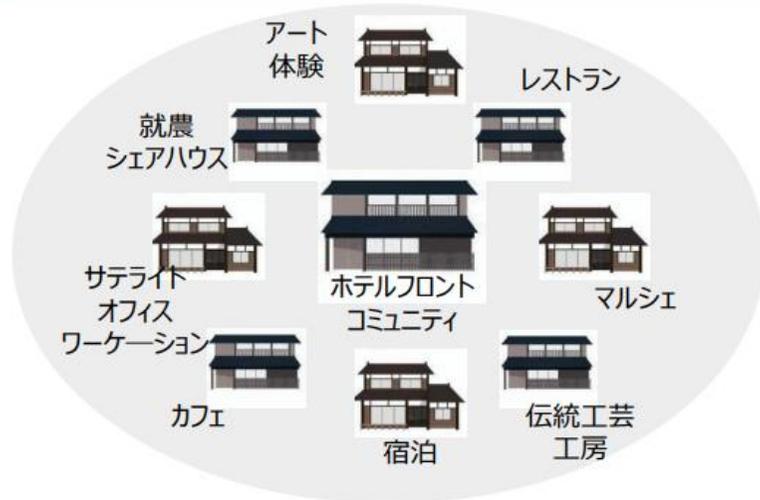


- HTB来場者300万人の広域周遊促進
- 圏域内滞在期間(宿泊数)の増加
- 交流人口増加による外貨獲得及び圏域内の経済循環

アルベルゴ・ディフーズ(分散型ホテル)推進

圏域における新たな観光拠点として、先駆的な平戸市において分散型ホテルを整備するもの。

アルベルゴ・ディフーズタウンのイメージ



地域に分散された空き家などを利用し、建物単体ではなく地域一帯をホテルと見立てた取り組み。

広域周遊観光における高付加価値観光の実現を目指している。

ごみの広域処理に関する研究

持続可能な地域づくりを目指し、住民生活に密接する圏域内のごみの広域処理について研究を行う。

- ① 圏域のごみ処理施設集約化に関する研究
- ② 圏域での災害発生時等におけるごみ処理相互支援に関する研究



佐世保市東部クリーンセンター

西九州させほ広域都市圏ビジョン懇談会の概要

役割・検討内容

以下の事項について検討・協議を行うこと

- (1) 都市圏ビジョンの策定及び変更に関すること。
- (2) その他都市圏ビジョンに関し、市長が必要と認める事項に関すること。

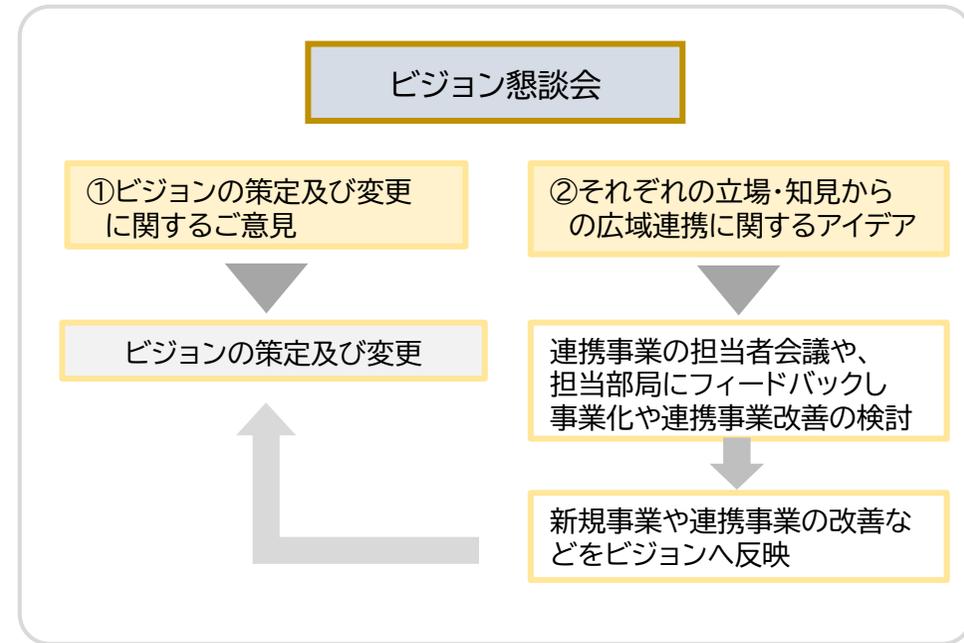
任期

2年(令和7年1月16日から令和9年1月15日まで)
※原則、3期6年まで再任することができる。

今後の開催予定

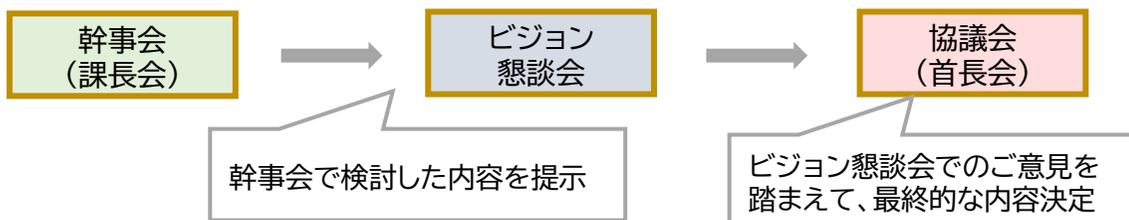
令和7年度 年2回程度(7月頃、3月頃)
令和8年度 年2回程度
令和9年度 年2回程度
令和10年度 年3回程度

※令和11年度からの第3期ビジョン改訂作業のため回数増予定



■ ビジョンの検討過程におけるビジョン懇談会の位置づけ

ビジョン懇談会では、ビジョンの内容等について、協議会(首長会)での内容決定の前に、検討を行っていただくことを想定している。
各委員からは、所属団体の活動をもとにしたご意見など、広域都市圏における取組について幅広くご指摘、ご協議いただきたい。



(例)ビジョン懇談会での指摘による修正

令和5年度第1回ビジョン懇談会

【指摘】

「その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策」のKPIについて、「高校生の地元就職率」を設定してあるが、大学進学率が高い昨今、「大学生の地元就職率」を設定しないのか。

【検討結果】

「大学生・高校生の地元就職率」をKPIに設定